

京都府立医科大学大学院医学研究科アドミッションポリシー（入学者受入方針）

<博士課程>

『求める学生像』

「世界トップレベルの医学を地域へ」の理念のもと、地域の医療に最善を尽くすと同時に、この京都の地で次世代の医学・医療を見据えた研究を通じて、「トップレベルの医学・医療を京都から世界へ」発信することができる豊かな人間性に裏づけられた探究心と向上心並びに創造性に富んだ人材の育成を目指す。

このため、博士課程には次のような学生を広く求める。

- 1 生命の尊厳を守る高い倫理観を持つ人
- 2 医学・医療・生命科学の探求を通じて人類の健康維持・増進に貢献しようとする人
- 3 広い視点から物事を多面的・多角的にとらえられる人
- 4 不断の自己鍛錬ができる人
- 5 国際的視野を持ち、自らの研究成果を国内外に発信しようとする人

『入学者選抜の基本方針』

教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するため、高い倫理観とリサーチマインドを持ち、グローバルな視野で医学・医療・生命科学の進歩と発展に貢献したいとの旺盛な意欲を有する者を選抜（一般選抜試験及び外国人選抜試験を毎年2度（前期、後期））する。選抜試験では、公平性かつ客観性を旨として外国語試験、専門試験及び口頭試験（面接）を行い、すべてが合格点に達したものを合格とする。

<修士課程>

『求める学生像』

「世界トップレベルの医学を地域へ」の理念のもと、医学部以外の学部教育を受けた者に医科学分野の基礎知識修得と研究トレーニングの場を提供することによって、他学部で学んだ専門知識や技術を医学に関連する学際的研究分野の開拓に役立てようとする強い意欲と展望を持った人材の育成を目指す。

このため、修士課程には次のような学生を広く求める。

- 1 生命の尊厳を守る高い倫理観を持つ人
- 2 医学・生命科学の探求を通じて人類の健康維持・増進に貢献しようとする人
- 3 広い視点から物事を多面的・多角的にとらえられる人

『入学者選抜の基本方針』

教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するため、高い倫理観とリサーチマインドを持ち、医学と生命科学の進歩と発展に貢献したいとの意欲を有する者を選抜（一般選抜試験及び外国人選抜試験を毎年2度（前期、後期））する。選抜試験では、公平性かつ客観性を旨として外国語試験、専門試験及び口頭試験（面接）を行い、すべてが合格点に達したものを合格とする。